えほんだより
みるみる ８月号

令和３年８月25日（水）
平田村立ひらたこども園

まだまだ暑い日が続いていますが、夕方の空色と飛び交う赤とんぼに、少しだけ夏の終わりを感じる今日この頃…。少しずつ季節の移り変わりを感じます。

今日から第２学期が始まり、夏休みをお家で過ごした１号児さんとこども園で毎日元気に過ごした２・３号児さんの、笑顔であふれるクラスが戻ってきました！

今年はコロナウイルス感染症が昨年より猛威をふるい、県内の感染拡大によってステイホームを強いられた夏休みとなってしまいました。でも、お家で過ごす時間が長かった分、お家のみなさんとの触れ合いもたくさんあったにでは…と、ポジティブに考えれば、ステイホームの夏もまた思い出の１ページになったように思います。

お知らせ

◆◇◆　保護者のみなさんへの絵本貸し出しについて　◆◇◆

現在、園のコロナ対策でお子さんの朝夕お引き渡しを玄関のみで行っており、保護者のみなさんの園内への立ち入りをご遠慮いただいている所です。絵本の貸し出しがご提供できず、大変心苦しく思っております。

今後、貸し出しの在り方や方法について検討してまいりますので、いましばらくお待ちいただければ幸いです。園内で検討し貸し出し方法が決まり次第、運用を開始いたします。





メディアと子どもの関係

小学校では、学校の教育活動として「プログラミング」の必須が導入されました。グローバル化や情報化といった社会情勢の変化により、子ども達が変化を前向きに捉え、主体的に向き合えることを目標にした背景から、パソコンやタブレットを授業に取り入れ、あらゆる活動において PC を活用することを求められるようになる未来に対応できるようにするためとのことです。時代は変わり、絵本も「電子書籍」などの普及で、実際の絵本を手にする機会も減っていくかと思うと残念な気もします。「紙の印刷のにおい」や「ページをめくるワクワク感」も、実際の絵本を手にしていなければ分かり得ない感覚かもしれません。



スマホも今では子ども達が手軽に手にできるツールのひとつではありますが、使い方によっては少し心配なことが…。

お茶の水女子大学名誉教授の榊原洋一氏はこう言います。「子どもの発育に重要なのは、テレビやスマホなどの視聴時間の長短よりも、**生身の人間とのやり取りがあるかどうか**です」（引用元：NHK 生活情報ブログ「スマホ育児」発育に影響は？より）

ついつい、公共の場や病院の待ち時間などに「静かにしていてほしい」という思いからスマホを利用することもあるかもしれません。子ども達の脳や視力のためにも、ルールを決めた上手な活用をサポートしてあげたいですね！

矢祭町の「もったいない図書館」さまより、昨年度の手作り絵本コンクールの優秀作品を書籍化した絵本を寄贈いただきました！同じ年のお友達や親子で作り上げた絵本の書籍化に子ども達もびっくり！こんなすてきな本にお友達の作品が書籍化されたら本当に嬉しいことですね！



さくら組のお友達がチャレンジ！

さくら組（５歳児）さんが、現在「手作り絵本」の作成にチャレンジしています！進級してから毎日のように「ことば遊び」や「お絵描き」をたくさん楽しんできました。遊びが発展し、みんなで「絵本を作ってみよう！」ということに…！完成間近の様子をお伝えします！

「ことば遊び」の風景
新聞文字探しゲームや「お話し作ろう！」遊びを楽しんできました。







「お話し作ろう」は、絵本の絵を見ながら、自分たちでストーリーを考えます。発想豊かでおもしろいお話ができましたよ！

遊びが発展し、こんなことも…！



七タのお話を自分達で演じながら発表したり…。

お友達に自分で読み聞かせをしてみたり…。

「自分達の絵本を作りたい！」となって…！

オリジナル絵本の作成に取り掛かりました！完成はもうすぐ！



矢祭町「もったいない図書館」主催の「手作り絵本コンテスト」に応募予定です！